ご挨拶

就任のご挨拶

岡本　泰昌　医歯薬保健学研究科 医歯薬学専攻
医学講座 精神神経医科学 教授

平成30年１月１日付けで、山脇成人教授の後任として広島大学大学院医歯薬保健学研究科精神神経医科学教室の教授に昇任いたしました岡本泰昌（おかもとやすまさ）です。私は平成元年大分医科大学（現；大分大学）を卒業し、当時 更井啓介先生が主宰されていた精神神経医学教室に入局しました。平成２年には山脇成人先生が教授に着任され、その後、大学院時代をはじめ、27年間にわたってご指導を頂いてきました。

精神医療は、極めて幅広い領域を包含し、生物学的次元「脳」から心理社会的次元「こころ」にまで及んでいます。これまで、両者は異なる手法を用いて異なる次元として検討され、一方は薬物療法として、他方は精神療法として個別に発展してきました。近年の脳科学的手法の進展に伴い、共通の次元で「脳とこころ」を理解することが可能となってきました。この神経科学の進歩を遅滞なく精神医学研究に応用し、そこから得られた臨床知見を元に精神疾患の生物学的基盤の理解とこれをベースにした診断・治療法の開発をすすめ、統合的な精神医療の構築を目指していきたいと思います。そのために、医学分野だけでなく、計算論的神経科学をはじめ、認知科学、進化人類学、疫学、心理学といった異なる分野の研究者と多くの協同研究を行ってきましたが、これまで培ってきた研究の発展的展開に積極的に取り組んでいきたいと思います。今後とも医歯薬保健学研究科の先生方からのご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

就任のご挨拶

寺山　隆司　医歯薬保健学研究科 医歯薬学専攻
歯学講座 顎顔面解剖学 教授

平成30年３月１日付けで、内田 隆教授の後任として広島大学大学院医歯薬保健学研究科の教授に着任いたしました寺山隆司と申します。紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。13年間、隣の岡山に住んでいましたが、これまで広島を訪問する機会もほとんどなく、あまりご縁がないのかと思っておりました。しかしながら宮崎医科大学大学院で師事した西森利數教授が広島大学のご出身で歯学部解剖学講座に所属されていたということで今更ながら少なからずご縁を感じております。私は九州歯科大学を卒業し、宮崎医科大学大学院を修了後、アメリカ留学を経て、旭川医科大学医学部と岡山大学歯学部では解剖学講座に所属し、17年間肉眼解剖学の教育に携わってきました。研究に関しては研究をスタートした大学院生の頃から一貫して神経科学研究、特に侵害情報伝達や神経障害性疼痛などの研究を行ってまいりました。最近では神経障害性疼痛の発症や持続における中枢グリア細胞の役割に着目して研究を行っています。今後はより臨床的なテーマに基づく痛み関連の研究を関連分野の研究室と共同で展開してまいりたいと考えています。広島大学においても歯学部での解剖学教育に関わるとともに、これまで以上に研究面での貢献が求められ、身の引き締まる思いです。微力ではありますが世界トップ100を目指すチームの一員として精一杯精進してまいります。諸先生方のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。